

第7回平方北小学校再編検討協議会

前回の協議内容の振り返り

【再編による課題の検討内容】

①協議「どこへ編入とするか」

- ・ 平方北小学校の児童が他校へ編入する
- ・ 平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる

②協議「通学距離が延びた際の通学方法」

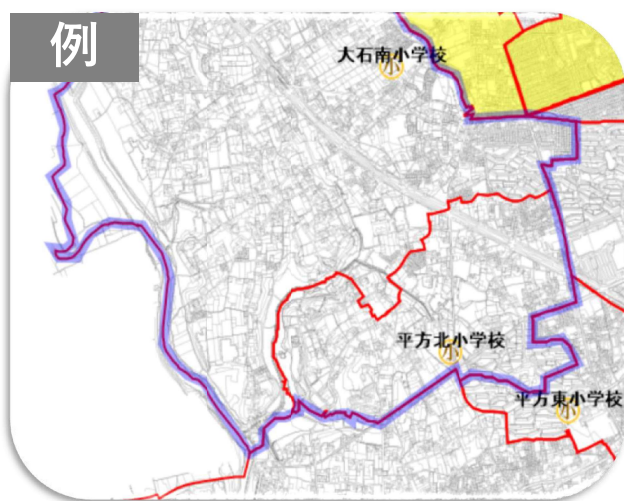
③協議「いつ編入とするか」

3

平方北小学校の児童が他校へ編入する場合

平方北小の学区を分けずに他校へ移す

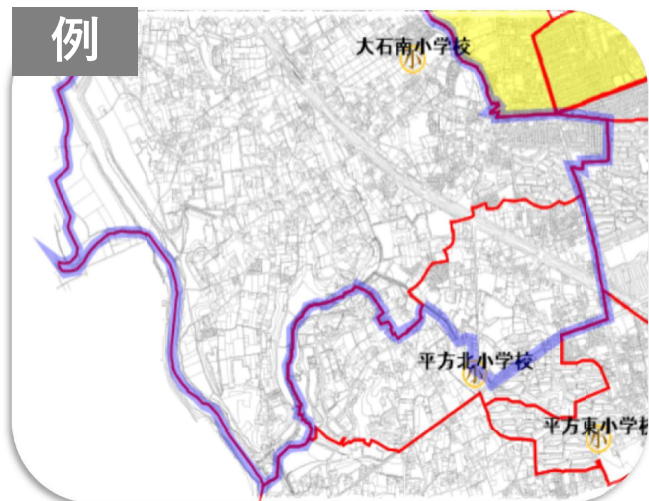
例



A 案 通学区域を分けない場合

平方北小の学区を分けて他校へ移す

例



B 案 通学区域を分ける場合

【第7回 協議会の内容】

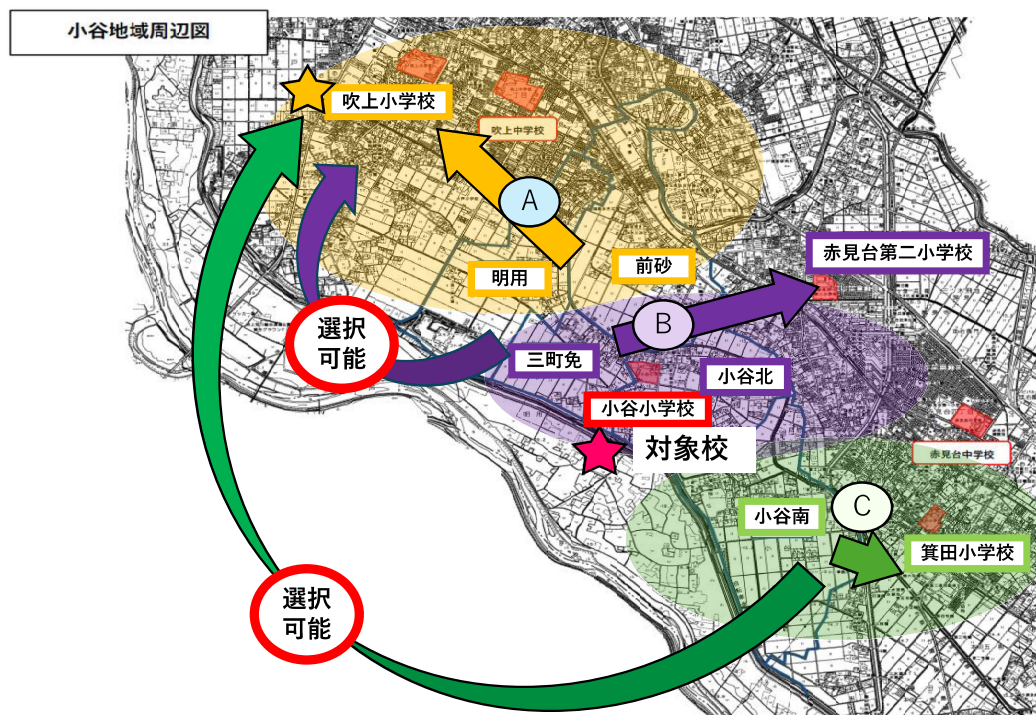
①通学区域を分ける場合の特例措置について

②再編方法の振り返りについて

③再編検討協議会後の取り組みについて

通学区域を分ける場合の 特例措置について

他市町村の事例(鴻巣市 ^{こや}小谷小学校)



区分けの小学校以外も選択できるようにする場合の検討事項

- ①選択できる小学校について
- ②対象者について
- ③中学校について

①選択できる小学校について

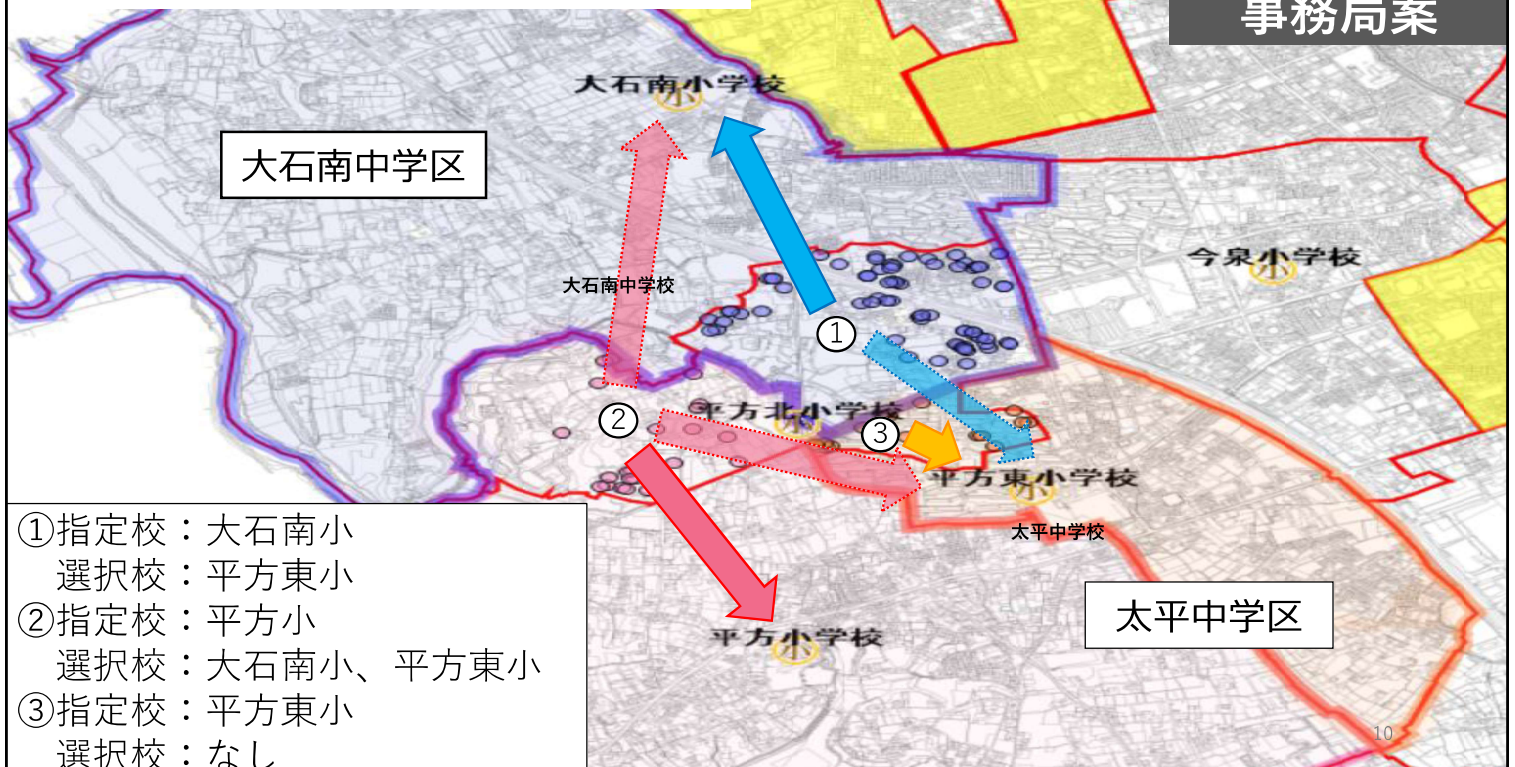
A案：距離の近い近隣校のみ選択できる

B案：全ての近隣校を選択できる

①選択できる小学校について

A案：距離の近い近隣校のみ選択できる

事務局案



①選択できる小学校について

B案：全ての近隣校を選択できる

事務局案



②対象者について

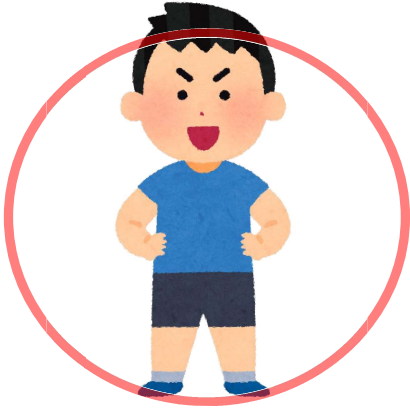
A案：対象者を限定する

B案：対象者を限定しない

②対象者について

A案：対象者を限定する

対象者を再編時の在校生とそのきょうだい児とする



再編時に平方北小の在校生



再編時に平方北小の在校生
のきょうだい児



在校生のきょうだい児が
いない再編後に入学した
児童

②対象者について

A案：対象者を限定する

	統合年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年
第 1 子	2 年生				6 年生				
第 2 子			1 年生					6 年生	

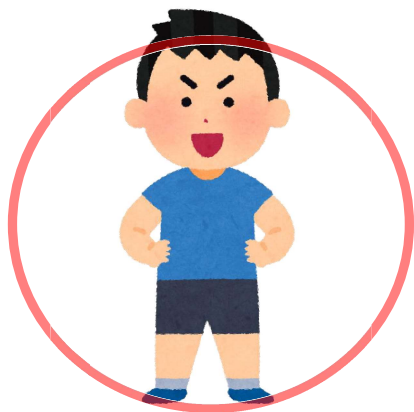
第 1 子が選択校に在学中の入学のため、
選択校への進学が可能
第 1 子卒業後も選択校に在籍が可能



②対象者について

B案：対象者を限定しない

調整区域とすることで対象者を限定しない



再編時に平方北小の在校生



再編時に平方北小の在校生
のきょうだい児



在校生のきょうだい児が
いない再編後に入学した
児童

②対象者について

B案：対象者を限定しない

再編年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年
調整区域が存続する限りは選択校への進学が可能								

ただし、調整区域の意義が無くなった場合は調整区域を
廃止とすることがある。

③中学校について

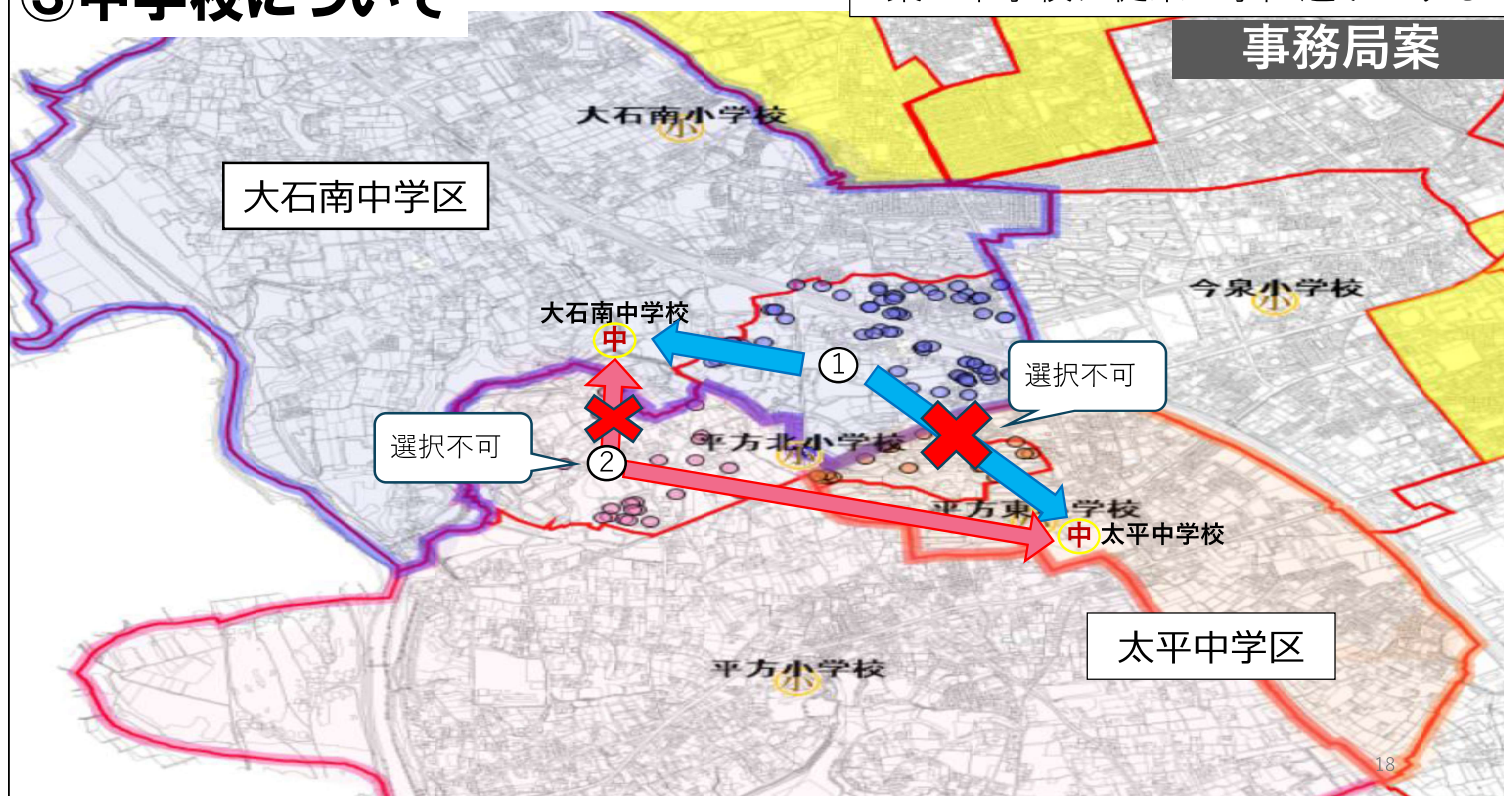
A案：中学校は従来の学区通りとする

B案：中学校についても選択制とする

③中学校について

A案：中学校は従来の学区通りとする

事務局案



再編方法の振り返りについて

21

○スケジュールについて

	日程	協議内容
第5回	5月30日 15：00～	・再編による課題の検討
第6回	7月29日 15：00～	・再編による課題の検討
第7回	9月30日 15：00～	・再編による課題の検討
第8回	12月2日 15：00～	・協議結果の取りまとめ
第9回	2月3日 15：00～	・協議結果の取りまとめ
第10回	未定 (4～5月)	・予備日

22

<児童の編入の仕方>

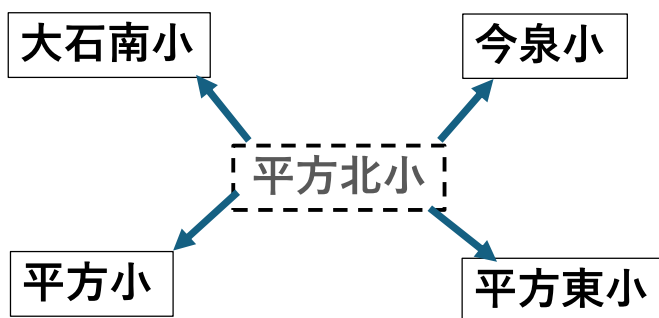
(1) 平方北小学校の児童が他校へ編入する

(2) 平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる

(1)

第3回

第6回

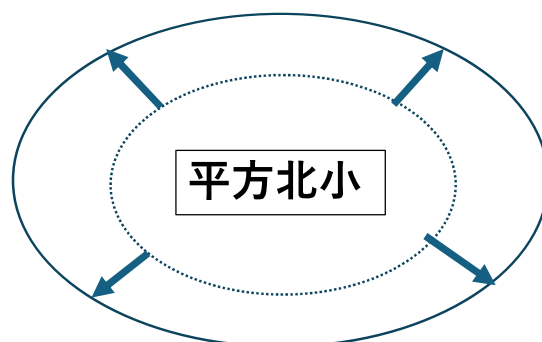


他校へ編入

(2)

第3回

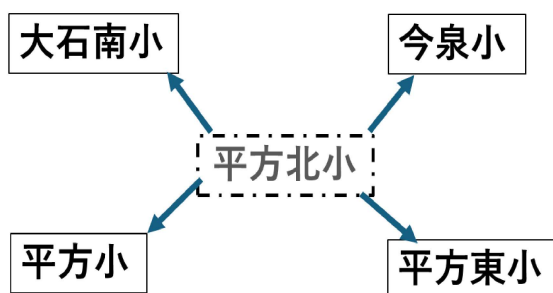
第4回



通学区域を拡大

23

平方北小学校の児童が他校へ編入する



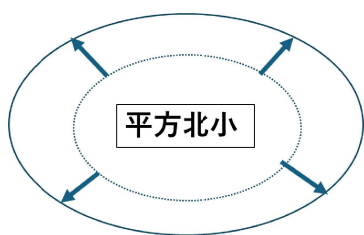
- ・ 第3回にて協議
- ・ 編入先はほとんどが適正規模校となる。
- ・ 他市町村の学校規模適正化の手法としては、ほとんどの自治体が統廃合の手法を取っている。

【これまで頂いたご意見】

- ・ 他の学校も小規模が適正規模になる学校や適正規模を維持できる学校もあるので、その点で考えるとこちらの方がいいのかなという印象があります。
- ・ 平方北小学校の方から平方小学校に編入ということで、単純に平方小学校の児童が増えるのであればそれもいいのかなという思いもあります。

24

平方北小学校の通学区域を拡大し児童を編入させる



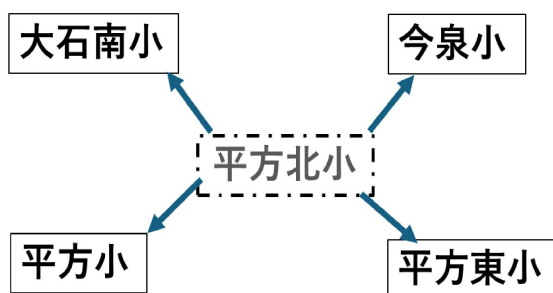
- ・第3回、第4回にて協議
- ・大石方面を含めても、適正規模化は難しい。
- ・他市町村の事例では、市内全域から通えるようにしたが、人が集まらず統廃合を検討している。

【これまで頂いたご意見】

- ・地区で子どもの絶対数は変わらないため、児童数を増やすのは難しく、遠くから児童を編入するのも難しいので、平方北小の魅力を上げていくしかないのではないかと思う。
- ・調整区域をとりあえずやってみるのはどうか。
- ・スクールバスを出せるようになれば、色々なところから来てくれる子たちも増えるのではないかなと思う。

25

平方北小学校の児童が他校へ編入する（再編の課題について）



- ・第6回にて協議
- ・通学区域を分ける編入と分けない編入について、それぞれ利点と懸念点があった。
- ・時期については、準備ができ次第再編するのが現実的。

【これまで頂いたご意見】

- ・平方北小の児童全員で移れるので、新しい環境に早く馴染めることがメリットだが、小学校から遠い地域ができてしまう。
- ・現在の友達と離れてしまう可能性もあるが、編入先で増えた友達と同じ中学校に行けるのが良いと思う。
- ・特例で学校を選べるようにするなど、子どものことを考えた細かい対応が必要である。
- ・クラス替えのタイミングに合わせて年度初めにするのはすごく大事ななと思った。

26

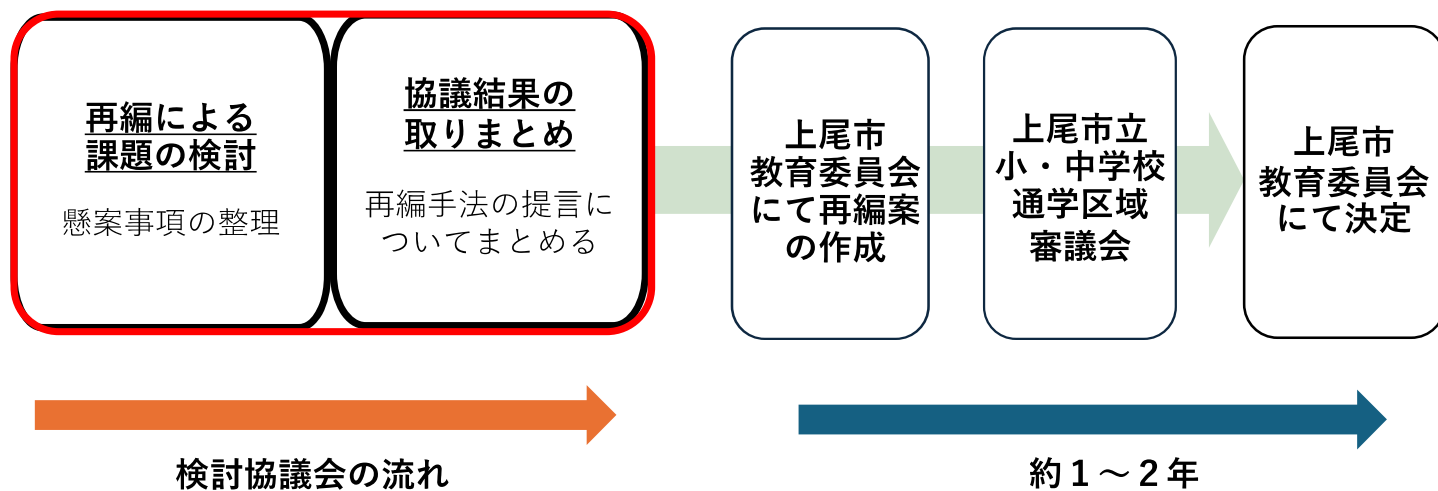
質疑応答

27

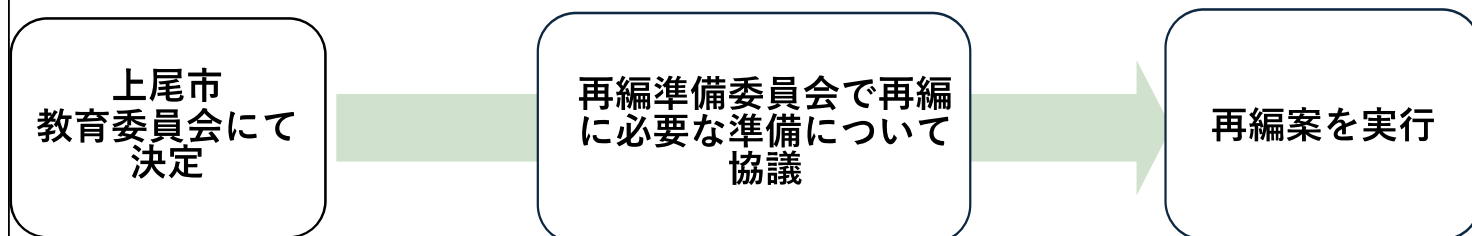
再編検討協議会後の取り組みについて

28

○協議会とその後の流れについて



○協議会とその後の流れについて



質疑応答